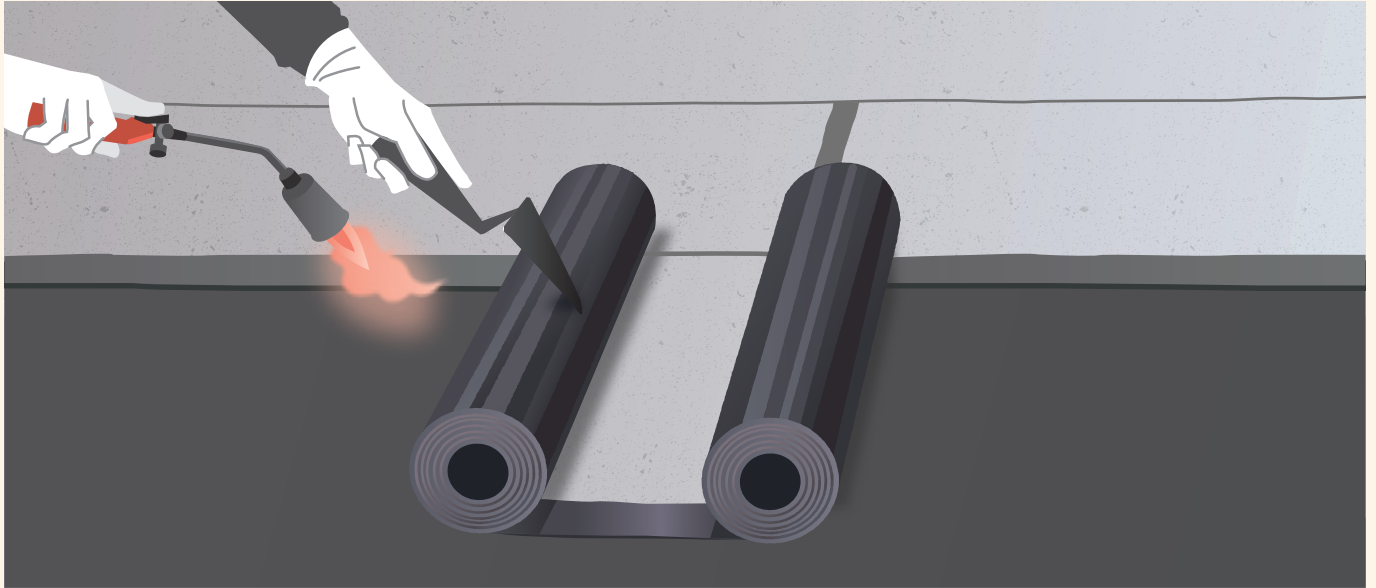


# ラピネス防水



## 環境に優しい

臭い、煙の発生がほとんどなく、低環境負荷性の防水工法です。

## 信頼性の高い防水機能

シートは合成繊維不織布と改質アスファルトから構成され、強度と伸び性能（抗張積）に優れており、トーチバーナーで加熱溶着することにより高い水密性を発揮します。

## 優れた経済性

大掛かりな設備を必要とせず、工期の短縮、省力化が図れます。

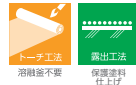


## 露出防水仕様

トーチ工法密着仕様

公共建築工事標準仕様書  
公共建築改修工事標準仕様書AS-T1相当

## TS30R

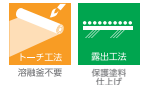
下地勾配 1/50~1/20 平場重量 9.3kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	ラピネスシートPW250	—
3	ラピネスシートGR400	—
4	保護塗料(別途)	—

トーチ工法密着仕様

公共建築(改修)工事標準仕様書AS-T2相当  
日本建築学会仕様(JASS8)AT-MF相当

## TS20R

下地勾配 1/50~1/20 平場重量 5.7kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	ラピネスシートGR400	—
3	保護塗料(別途)	—

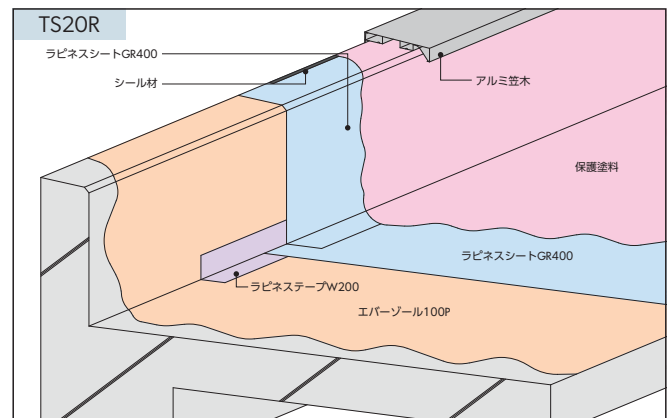
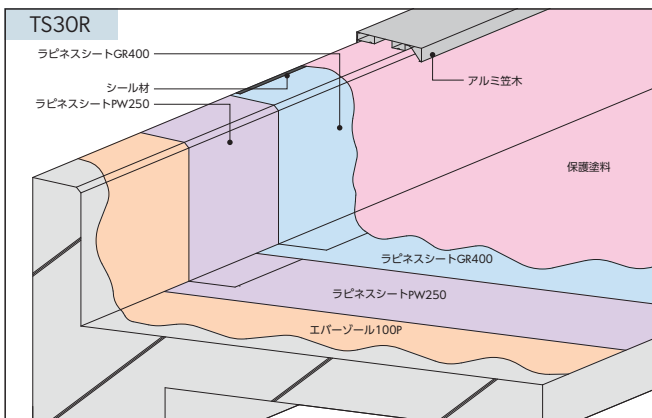
工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	ラピネスシートPW250	—
3	ラピネスシートGR400	—
4	保護塗料(別途)	—

※AS-T1仕様の場合は増張りを行い、増張り用シートは非露出複層防水用R種、厚さ2.5mm以上(ラピネステープW200)とします。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	ラピネスシートGR400	—
3	保護塗料(別途)	—

※増張り用シートは非露出複層防水用R種、厚さ2.5mm以上(ラピネステープW200)とします。

※AT-MF仕様の場合は、増張りを省略します。



## 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 下地がALCパネルの場合は、工程1の使用量を( )とします。
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かぶせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾール100Pをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

## 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルジョン系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
フジカラトップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジカラトップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクール(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジシルバー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>

## 露出防水仕様

トーチ工法通気仕様

公共建築工事標準仕様書  
公共建築改修工事標準仕様書AS-T3相当

## TSM25R

下地勾配 1/50~1/20 平場重量 8.8kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	ハインシートSW-T	—
3	ラピネスシートGR400	—
4	保護塗料(別途)	—

※ハインシートSW-Tの短辺接合部は突付けとし、ラピネステープW200を用いて処理します。

※AS-T3を部分的に溶着させる場合は、工程2を非露出複層防水用R種、2.5mm以上(ラピネスシートPW250)とします。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	ラピネスシートPW250	—
3	ラピネスシートGR400	—
4	保護塗料(別途)	—

※AS-T3仕様の場合は増張りを行い、増張り用シートは非露出複層防水用R種、厚さ2.5mm以上(ラピネステープW200)とします。

トーチ工法通気仕様

公共建築工事標準仕様書  
公共建築改修工事標準仕様書AS-T4相当

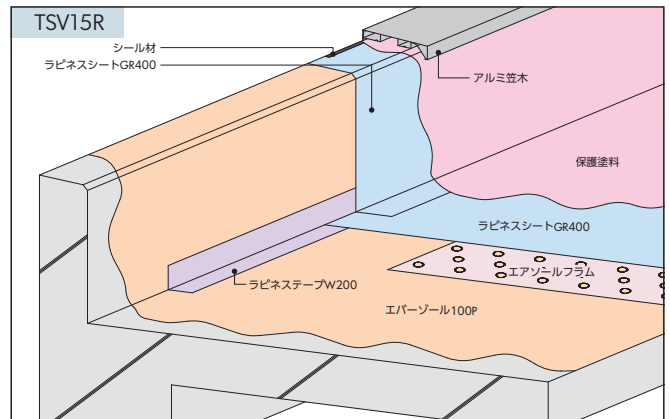
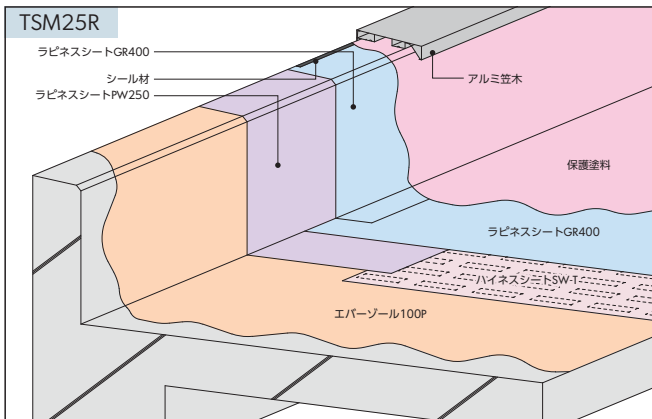
## TSV15R

下地勾配 1/50~1/20 平場重量 6.4kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	エアソールフラム	—
3	ラピネスシートGR400	—
4	保護塗料(別途)	—

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	ラピネスシートGR400	—
3	保護塗料(別途)	—

※増張り用シートは非露出複層防水用R種、厚さ2.5mm以上(ラピネステープW200)とします。



## 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 下地がALCパネルの場合は、工程1の使用量を( )とします。
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かぶせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾール100Pをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

## 脱気装置の設置

- 通気仕様で脱気装置を設置する場合は、ステンレス製脱気筒を防水面積や下地の状況を考慮して、50~100㎡を目安に設置してください(別途)。

## 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルジョン系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
フジカラトップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジカラトップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクール(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジシルバー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>

## 露出防水仕様

トーチ工法通気仕様

公共建築工事標準仕様書  
公共建築改修工事標準仕様書AS-T4相当TSS15R(スポット  
工法)下地勾配 1/50~1/20 平場重量 5.7kg/m<sup>2</sup>

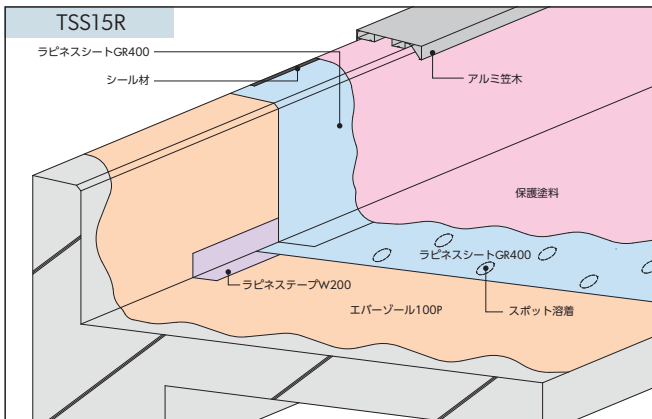
工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	ラピネスシートGR400	—
3	保護塗料(別途)	—

※平場部の工程2は部分溶着とします。

※立上り際の500mm程度は、改質アスファルトシート(ラピネスシートGR400)を全面密着させます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	ラピネスシートGR400	—
3	保護塗料(別途)	—

※増張り用シートは非露出複層防水用R種、厚さ2.5mm以上(ラピネステープW200)とします。



## 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 下地がALC/パネルの場合は、工程1の使用量を( )とします。
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かぶせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾール100Pをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

## 脱気装置の設置

- 通気仕様で脱気装置を設置する場合は、ステンレス製脱気筒を防水面積や下地の状況を考慮して、50~100m<sup>2</sup>を目安に設置してください(別途)。

## 露出断熱防水仕様

トーチ工法通気仕様

公共建築(改修)工事標準仕様書ASI-T1相当  
日本建築学会仕様(JASS8)AT-MT相当TIS20R(飛び火  
認定対応)下地勾配 1/50~1/20 平場重量(断熱30mm) 11.7kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2(0.4)
2	RAボードU(SKボンド0.5kg/m <sup>2</sup> またはアスセメント0.7kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—
3	ハインスシートSW-T	—
4	ラピネスシートGR400	—
5	保護塗料(別途)	—

※TIS20Rの断熱材張付けにSKボンドを使用する場合、平場工程1を省略することができます。

※ハインスシートSW-Tの短辺接合部は突付けとし、ラピネステープW200を用いて処理します。

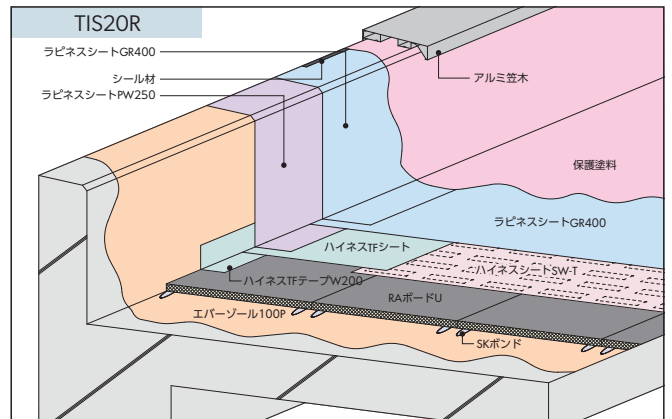
※飛び火認定対応の場合は、断熱材張付け材はSKボンドとし、保護塗料はフジカラトップ難燃を使用します。

※断熱材の張付けはSKボンドまたはアスセメントに替えて、機械的に固定することができます。(固定金具は風圧力と引き抜き強度を検討の上、決定します)

※立上り際の500mm程度は、改質アスファルトシート(ハインスTFシート)を全面密着させます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	ラピネスシートPW250	—
3	ラピネスシートGR400	—
4	保護塗料(別途)	—

※AT-MT仕様の場合は、増張りを省略し、ハインスTFシートを入隅から100mm立上げます。

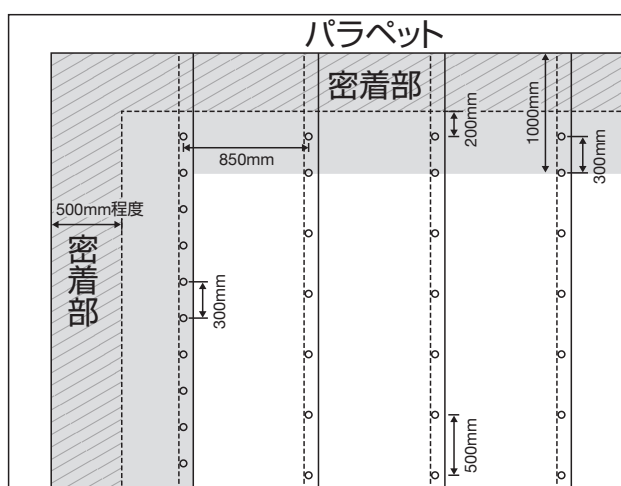


## 保護仕上げ塗料(別途)

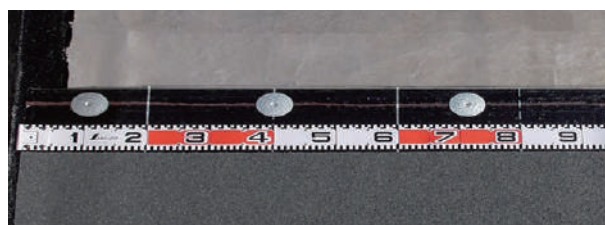
- エマルジョン系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
フジカラトップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジカラトップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクール(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジシルバー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>  
フジカラトップ難燃 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
(飛び火認定対応の場合に使用します。)

地球環境に配慮したエコ仕様の防水工法です。

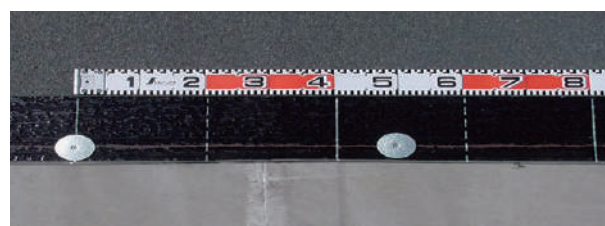
- 1 耐久性に優れた防水シート
- 2 湿潤下地でも施工可能かつ防水層のふくれがない
- 3 特に改修工事にはメリットの多い工法
- 4 地球に優しいエコ工法
- 5 省層化工法 (単層仕様) が可能
- 6 水密性の高い工法
- 7 機械化施工を可能にしたピン固定工法



特定部位固定ピン ピッチ300mm



一般部位固定ピン ピッチ500mm



## ■ 固定金具割付例 (周辺・コーナー部)

- 入隅部から500mmの範囲はプライマー塗布後、シートにて密着張りとします。
- 入隅部際500mmから1mの範囲の固定金具は300mmピッチで固定します。  
それ以外の範囲は500mmピッチで固定します。
- 立上り部および役物回りは密着張りとします。
- ALCパネル、木毛セメント板およびぜい弱な下地については適用外です。
- 入隅部から500mmを密着張りとしなない場合は、入隅部から1mの範囲の固定金具を300mmピッチ、  
それ以外の範囲を500mmピッチで固定します。

※注意 固定金具の割付(ピン間隔)は、風圧力と現場引き抜き強度およびシート強度との比較検証が必要です。

## 露出防水仕様

## 機械固定露出複層仕様

## TSK30R



下地勾配 1/50~1/20 平場重量 9.0kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	ラピネスシートPW250M	—
2	ラピネスシートGR400	—
3	保護塗料(別途)	—

※立上り際より500mm程度の範囲は密着とします。  
 ※立上り際より500mmから1m程度の範囲は、固定ディスクは300mmピッチ、  
 その他は500mmピッチとします。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	ラピネスシートGR400	—
3	保護塗料(別途)	—

## 機械固定露出単層仕様

## TSK20R

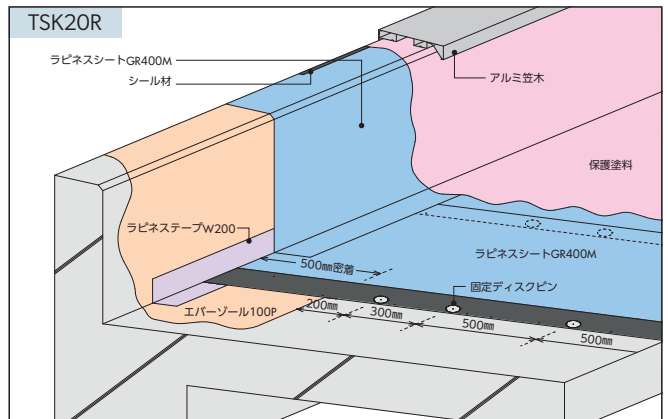
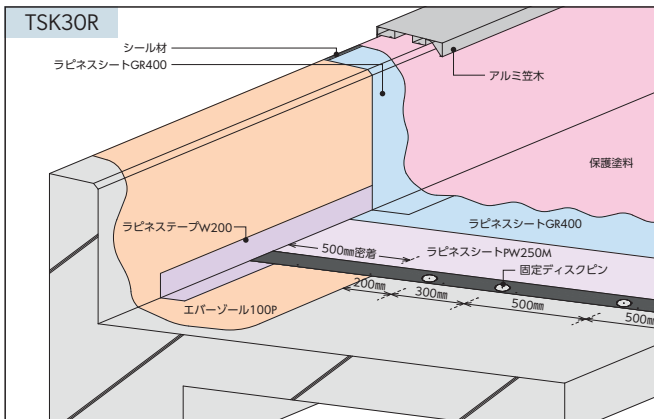


下地勾配 1/50~1/20 平場重量 5.5kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	ラピネスシートGR400M	—
2	保護塗料(別途)	—

※立上り際より500mm程度の範囲は密着とします。  
 ※立上り際より500mmから1m程度の範囲は、固定ディスクは300mmピッチ、  
 その他は500mmピッチとします。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	ラピネスシートGR400M	—
3	保護塗料(別途)	—



## 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かげせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾール100Pをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

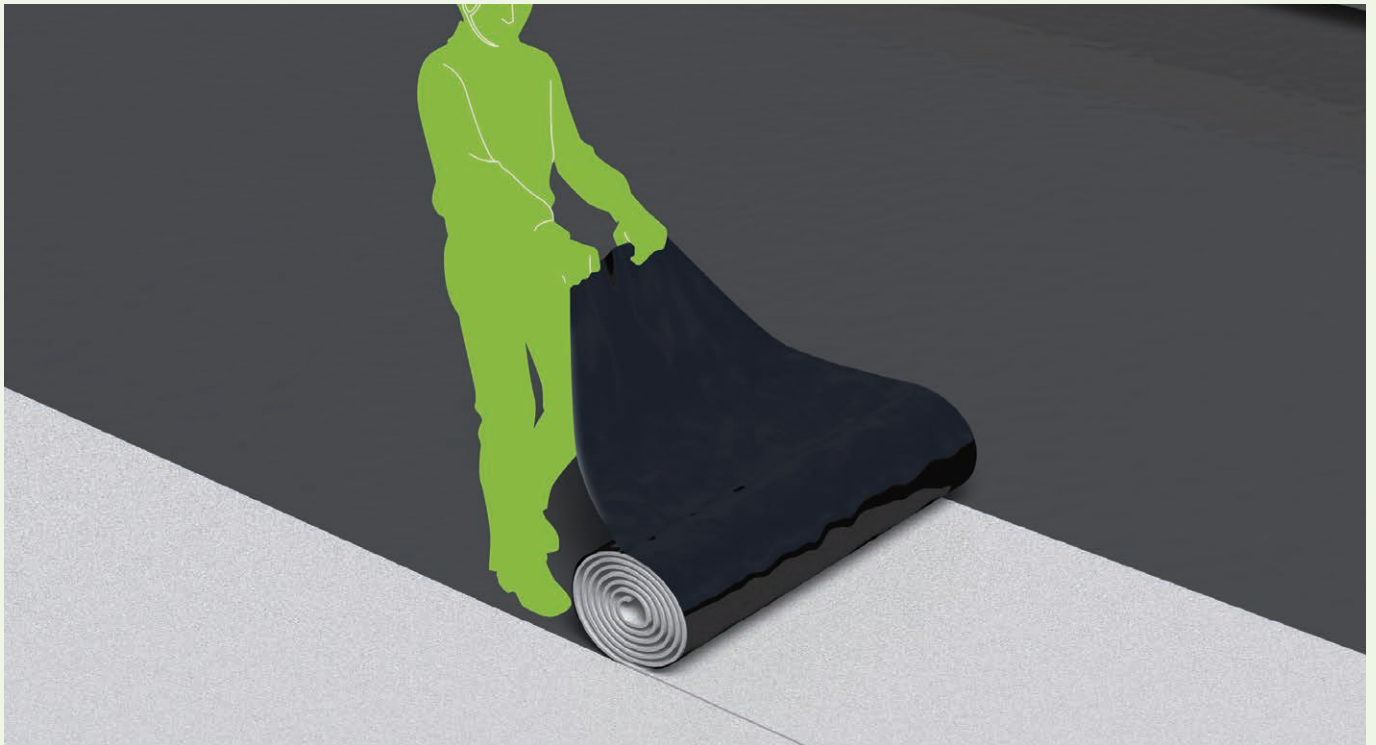
## 脱気装置の設置

- 通気仕様で脱気装置を設置する場合は、ステンレス製脱気筒を防水面積や下地の状況を考慮して50~100mを目安に設置してください。(別途)

## 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルション系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
 フジカラトップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジカラトップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジトップクール(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジシルパー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>

# ハイネス防水



## 人と環境に 優しい工法

二酸化炭素の排出がない常温粘着タイプで、低環境負荷性の防水工法です。

## 信頼性の高い 防水機能

シートは合成繊維不織布と改質アスファルトから構成され、強度と伸び性能(抗張積)に優れます。

## 優れた経済性

大掛かりな設備を必要としない為、工期の短縮、省力化が図れます。



# 露出防水仕様

常温粘着工法密着仕様

公共建築改修工事標準仕様書AS-J2相当

## H-MF11



下地勾配 1/50~1/20 平場重量 4.4kg/m<sup>2</sup>

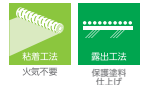
工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートS	—
3	保護塗料(別途)	—

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートS	—
3	保護塗料(別途)	—

※増張り用シートは粘着層付改質アスファルトシート、厚さ1.5mm以上(ハynesテープW200)とします。

常温粘着工法密着仕様

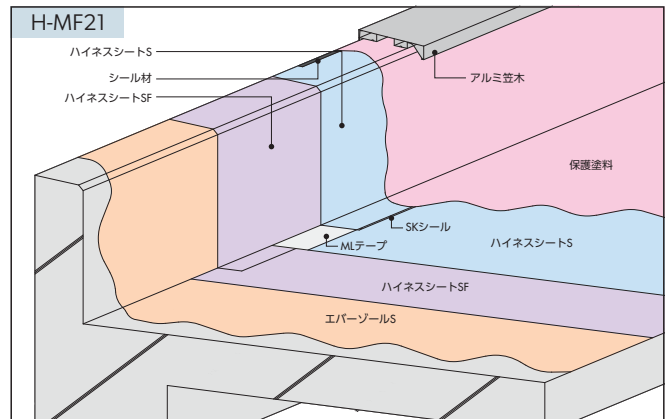
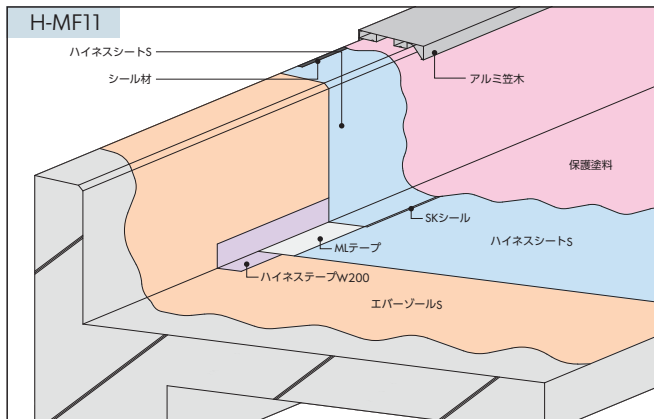
## H-MF21



下地勾配 1/50~1/20 平場重量 6.1kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートSF	—
3	ハynesシートS	—
4	保護塗料(別途)	—

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートSF	—
3	ハynesシートS	—
4	保護塗料(別途)	—



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 下地がALCパネルの場合は、工程1の使用量を( )とします。
- MLテープはネオアスファルトに変更することができます。
- ハynesシートSの長辺ラップ・短辺ラップ端部段差には、SKシールにて三角打ち処理します。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かがせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾールSをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

### 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルジョン系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
 フジカラトップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジカラトップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジトップクール(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジシルパー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>



# 露出防水仕様

常温粘着工法通気仕様

公共建築(改修)工事標準仕様書AS-J1相当  
日本建築学会仕様(JASS8)AM-MS相当

## H-MS21



下地勾配 1/50~1/20 平場重量 6.6kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートSFII	—
3	ハynesシートS	—
4	保護塗料(別途)	—

※ハynesシートSFIIの短辺接合部は突付けとし、ハynesテープW200を用いて処理します。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートSF	—
3	ハynesシートS	—
4	保護塗料(別途)	—

※AS-J1仕様、AM-MS仕様の場合は増張りを行い、増張り用シートは、粘着層付改質アスファルトシート厚さ1.5mm(ハynesテープW200)とします。

常温粘着工法通気仕様

公共建築改修工事標準仕様書  
AS-J3相当(改修工事POAS工法の場合のみ)

## H-MS21b



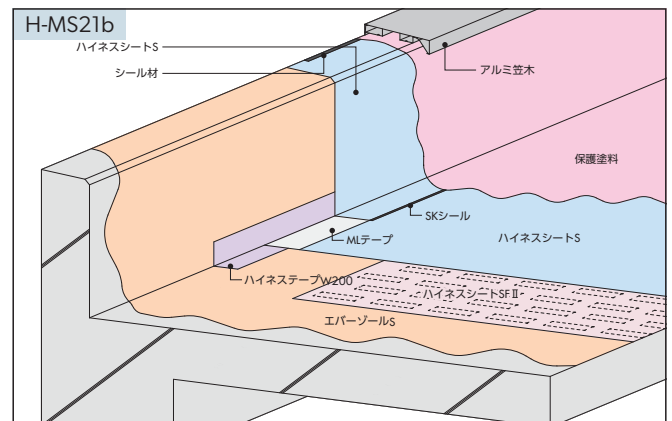
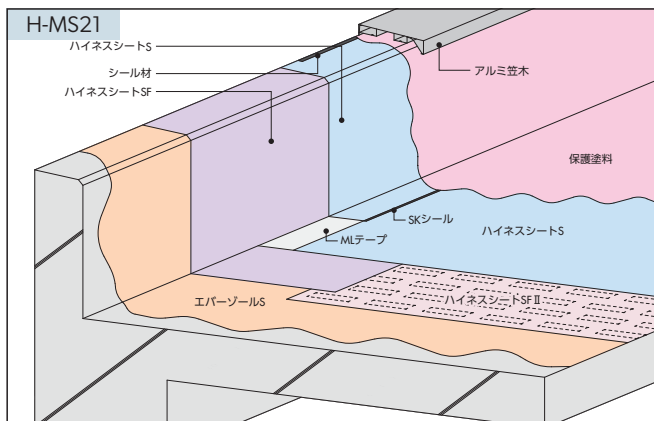
下地勾配 1/50~1/20 平場重量 6.6kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートSFII	—
3	ハynesシートS	—
4	保護塗料(別途)	—

※ハynesシートSFIIの短辺接合部は突付けとし、ハynesテープW200を用いて処理します。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートS	—
3	保護塗料(別途)	—

※増張り用シートは粘着層付改質アスファルトシート、厚さ1.5mm以上(ハynesテープW200)とします。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 下地がALCパネルの場合は、工程1の使用量を( )とします。
- MLテープはネオファルトに変更することができます。
- ハynesシートSの長辺ラップ・短辺ラップ端部段差には、SKシールにて三角打ち処理します。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かぶせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾールSをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

### 脱気装置の設置

- 通気仕様で脱気装置を設置する場合は、ステンレス製脱気筒を防水面積や下地の状況を考慮して、50~100m<sup>2</sup>を目安に設置してください(別途)。

### 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルジョン系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
フジカラトップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジカラトップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクール(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジシルパー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>

# 露出断熱防水仕様

常温粘着工法通気仕様

公共建築(改修)工事標準仕様書ASI-J1相当  
日本建築学会仕様(JASS8)AS-MT相当

## H-MS21T



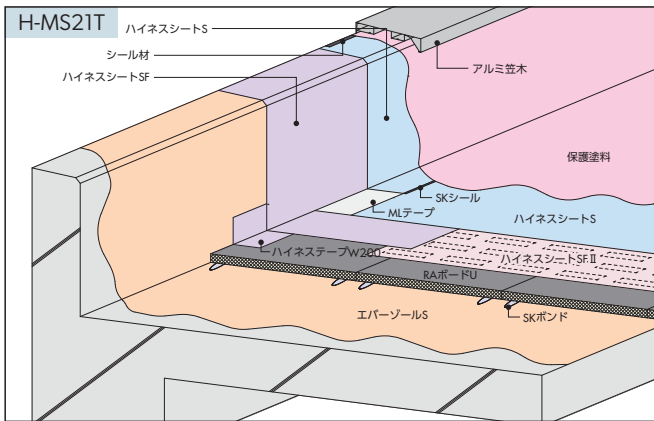
下地勾配 1/50~1/20 平場重量(断熱30mm) 8.6kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	RAボードU (SKボンド0.5kg/m <sup>2</sup> または アスセメント0.7kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—
3	ハynesシートSFII	—
4	ハynesシートS	—
5	保護塗料(別途)	—

※ハynesシートSFIIの短辺接合部は突付けとし、ハynesテープW200を用いて処理します。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾールS	0.2(0.4)
2	ハynesシートSF	—
3	ハynesシートS	—
4	保護塗料(別途)	—

※増張り用シートは粘着層付改質アスファルトシート、厚さ1.5mm以上(ハynesテープW200)とします。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 下地がALCパネルの場合は、工程1の使用量を( )とします。
- MLテープはネオファルトに変更することができます。
- ハynesシートSの長辺ラップ・短辺ラップ端部段差には、SKシールにて三角打ち処理します。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かぶせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾールSをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

### 脱気装置の設置

- 通気仕様で脱気装置を設置する場合は、ステンレス製脱気筒を防水面積や下地の状況を考慮して、50~100m<sup>2</sup>を目安に設置してください(別途)。



既存防水層撤去



シート張付け完了

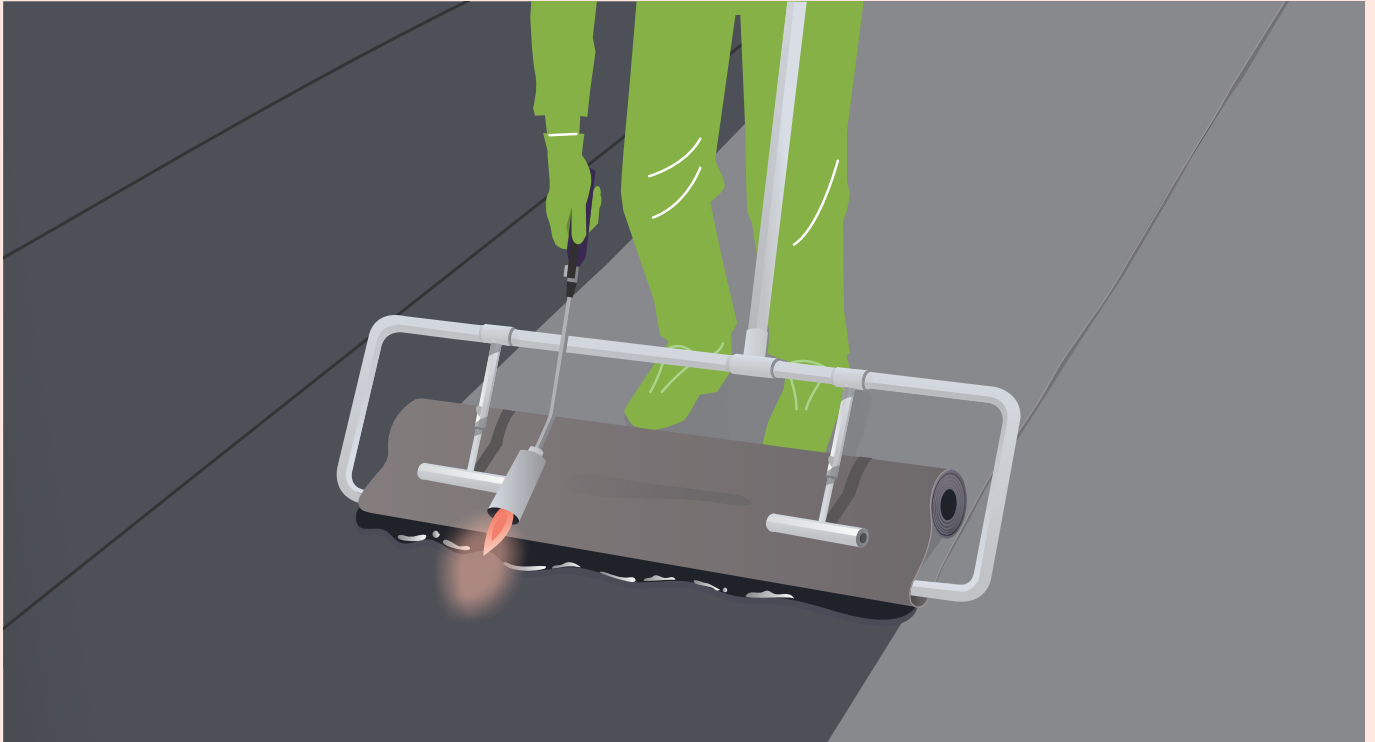


保護塗料塗布完了

### 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルジョン系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
フジカラトップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジカラトップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクール(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジシルバー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>

# クロスアーマー防水



## 高い信頼性と 低い環境負荷を両立

流し張りで高い水密性を確保する熱工法と、煙や臭いの原因となる熔融釜を排したトーチ工法の長所を兼ね備えています。

## 優れた耐候性・耐久性 をもたらす独自技術

溶解性に優れた表層がトーチバーナーで熔融され、熱工法の張付け材のようにシート間を隙間なく充たすことにより、あらゆる気候下で長期にわたって高水密性を保持します。



# 露出防水仕様

無釜・冷熱併用工法密着仕様

## XAS-20



下地勾配 1/50~1/20 平場重量 6.8kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーフェイス	—
3	クロスアーマーヘッド	—
4	保護塗料(別途)	—

無釜・冷熱併用工法通気仕様

建設技術審査証明D-1、D-2認定仕様

## XAS-25



下地勾配 1/50~1/20 平場重量 7.5kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベース	—
3	クロスアーマーヘッド	—
4	保護塗料(別途)	—

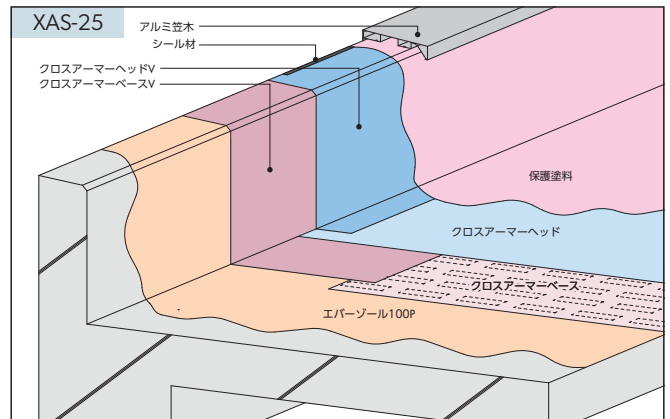
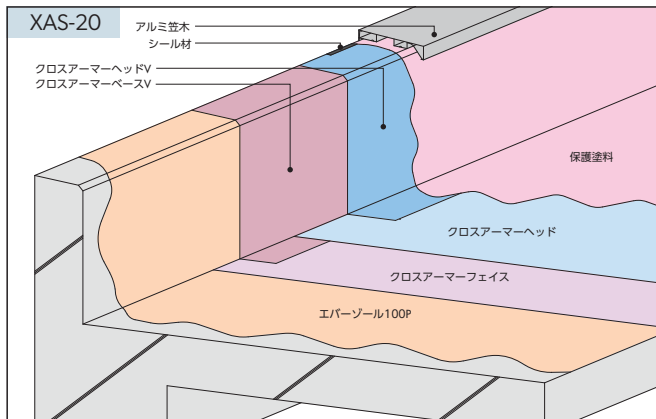
※クロスアーマーベースの短辺接合部は突付けとし、クロスアーマーテープW200を用いて処理します。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベース V	—
3	クロスアーマーヘッド V	—
4	保護塗料(別途)	—

※立上り部はトーチ工法仕上げに変更することができます。その場合はラピネス防水TS30Rとします。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベース V	—
3	クロスアーマーヘッド V	—
4	保護塗料(別途)	—

※立上り部はトーチ工法仕上げに変更することができます。その場合はラピネス防水TS30Rとします。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かぶせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾール100Pをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

### 脱気装置の設置

- 通気仕様で脱気装置を設置する場合は、ステンレス製脱気筒を防水面積や下地の状況を考慮して、50~100m<sup>2</sup>を目安に設置してください(別途)。

### 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルジョン系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
 フジカラトップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジカラトップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジトップクール(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
 フジシルバー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>

# 露出断熱防水仕様

無釜・冷熱併用工法密着仕様

## XAS-30U



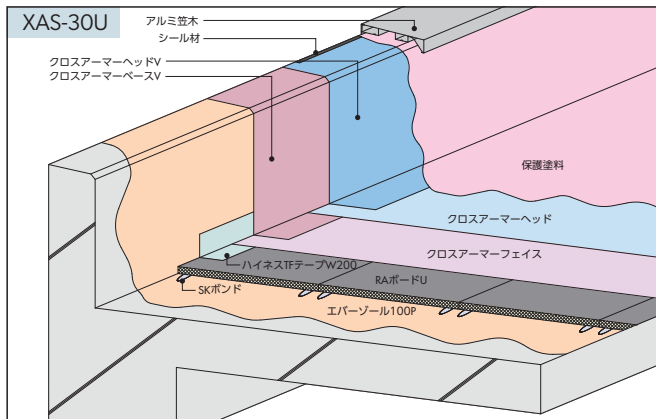
下地勾配 1/50~1/20 平場重量(断熱30mm) 8.5kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	RAボードU (SKボンド0.5kg/m <sup>2</sup> または アスセメント0.7kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—
3	クロスアーマーフェイス	—
4	クロスアーマーヘッド	—
5	保護塗料(別途)	—

※断熱材の張付けにSKボンドを使用する場合は、平場工程1を省略することができます。  
※断熱材の張付けはSKボンドまたはアスセメントに替えて、機械的に固定することができます。(固定金具は風圧力と引き抜き強度を検討の上、決定します)

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベース V	—
3	クロスアーマーヘッド V	—
4	保護塗料(別途)	—

※増張り用シートは、ハイネスTFテープW200とします。  
※立上り部はトーチ工法仕上げに変更することができます。その場合はラピネス防水TS30Rとします。



無釜・冷熱併用工法通気仕様 建設技術審査証明DI-1、DI-2認定仕様

## XAS-35U(飛び火認定対応)



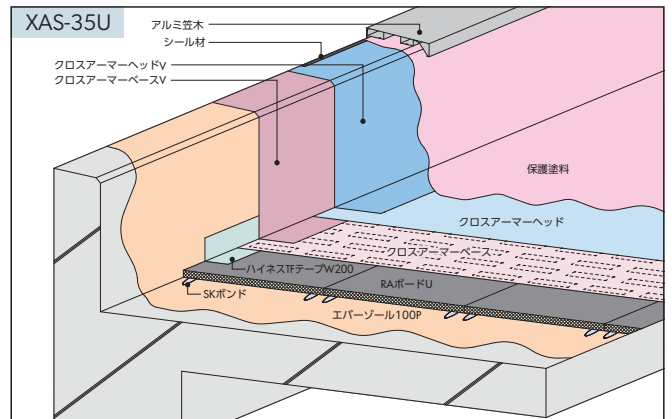
下地勾配 1/50~1/20 平場重量(断熱30mm) 9.2kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	RAボードU (SKボンド0.5kg/m <sup>2</sup> または アスセメント0.7kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—
3	クロスアーマーベース	—
4	クロスアーマーヘッド	—
5	保護塗料(別途)	—

※断熱材の張付けにSKボンドを使用する場合は、平場工程1を省略することができます。  
※断熱材の張付けはSKボンドまたはアスセメントに替えて、機械的に固定することができます。(固定金具は風圧力と引き抜き強度を検討の上、決定します)  
※防湿層付き仕様とする場合は工程2のRAボードUの張付け前にアンダーガードを張り付け、仕様番号をXASS-35Uとします。また、防湿層はハイネスシートSW-SIに変更することもできます。  
※飛び火認定対応の場合は、断熱材張付け材はSKボンドとし、保護塗料はフジカラートップ難燃を使用します。  
※クロスアーマーベースの短辺接合部は突付けとし、クロスアーマーテープW200を用いて処理します。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベース V	—
3	クロスアーマーヘッド V	—
4	保護塗料(別途)	—

※増張り用シートは、ハイネスTFテープW200とします。  
※立上り部はトーチ工法仕上げに変更することができます。その場合はラピネス防水TS30Rとします。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- かぶせ方式での改修の場合は平場工程1のエバーゾール100Pをタフベース(0.6~1.0kg/m<sup>2</sup>)に置き換えてください。

### 脱気装置の設置

- 通気仕様で脱気装置を設置する場合は、ステンレス製脱気筒を防水面積や下地の状況を考慮して、50~100㎡を目安に設置してください(別途)。

### 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルジョン系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量  
フジカラートップ(非歩行用) 0.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジカラートップS(骨材入り・軽歩行用) 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクール(高反射塗料)0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジトップクールG(高反射塗料) 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
フジシルバー(水性) 0.3kg/m<sup>2</sup>  
フジカラートップ難燃 1.5kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)  
(飛び火認定対応の場合に使用します。)

# 押え防水仕様

無釜・冷熱併用施工密着仕様

## XAF-20

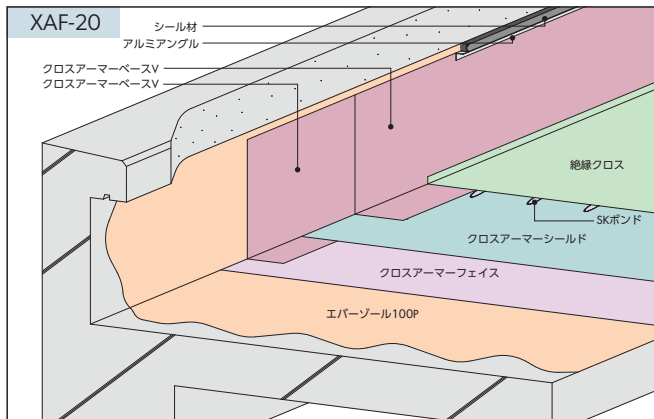


下地勾配 1/100~1/50 平場重量 6.2kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーフェイス	—
3	クロスアーマーシールド	—
4	トーチ加熱で端部処理	—
5	絶縁クロス(SKボンド0.1kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベースV	—
3	クロスアーマーベースV	—
4	トーチ加熱で端部処理	—

※立上り部を露出仕上げとする場合、工程3のクロスアーマーベースVをクロスアーマーヘッドVに置き換え、保護塗料仕上げ(別途)とします。  
 ※立上り部はトーチ施工仕上げに変更することができます。その場合はラピネス防水TS30Rとします。



無釜・冷熱併用施工通気仕様 建設技術審査証明A-1、A-2、B-1、B-2認定仕様

## XAF-25



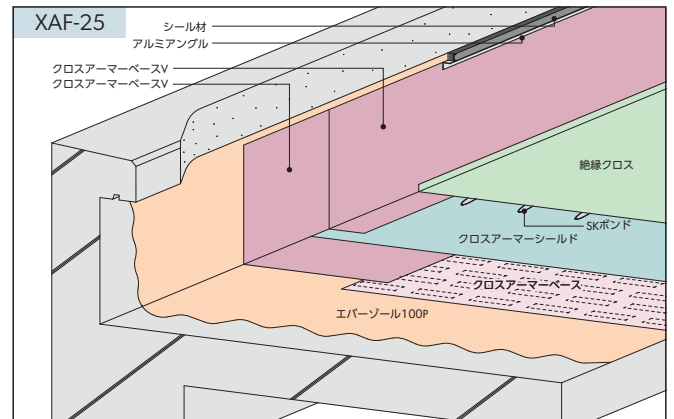
下地勾配 1/100~1/50 平場重量 6.9kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベース	—
3	クロスアーマーシールド	—
4	トーチ加熱で端部処理	—
5	絶縁クロス(SKボンド0.1kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—

※クロスアーマーベースの短辺接合部は突付けとし、クロスアーマーテープW200を用いて処理します。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベースV	—
3	クロスアーマーベースV	—
4	トーチ加熱で端部処理	—

※立上り部を露出仕上げとする場合、工程3のクロスアーマーベースVをクロスアーマーヘッドVに置き換え、保護塗料仕上げ(別途)とします。  
 ※立上り部はトーチ施工仕上げに変更することができます。その場合はラピネス防水TS30Rとします。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 立上りを成形板仕上げにする場合は、彩色カバータイト仕上げにて、増張りとしてください。

# 押え断熱防水仕様

無釜・冷熱併用工法密着仕様

## XAF-30S



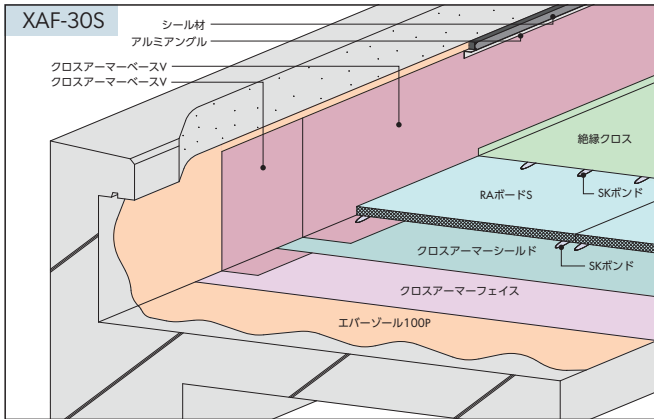
下地勾配 1/100~1/50 平場重量(断熱35mm) 7.9kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーフェイス	—
3	クロスアーマーシールド	—
4	トーチ加熱で端部処理	—
5	RAボードS (SKボンド0.5kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—
6	絶縁クロス(SKボンド0.1kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—

※SKボンド0.5kg/m<sup>2</sup>による点張りは、トーチ溶融による点張りに変更することができます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベースV	—
3	クロスアーマーベースV	—
4	保護塗料(別途)	—

※立上り部を露出仕上げとする場合、工程3のクロスアーマーベースVをクロスアーマーヘッドVに置き換え、保護塗料仕上げ(別途)を行います。  
※立上り部はトーチ工法仕上げに変更することができます。その場合はラピネス防水TS30Rとします。



無釜・冷熱併用工法通気仕様

建設技術審査証明AI-1、AI-2、BI-1、BI-2認定仕様

## XAF-35S



下地勾配 1/100~1/50 平場重量(断熱35mm) 8.6kg/m<sup>2</sup>

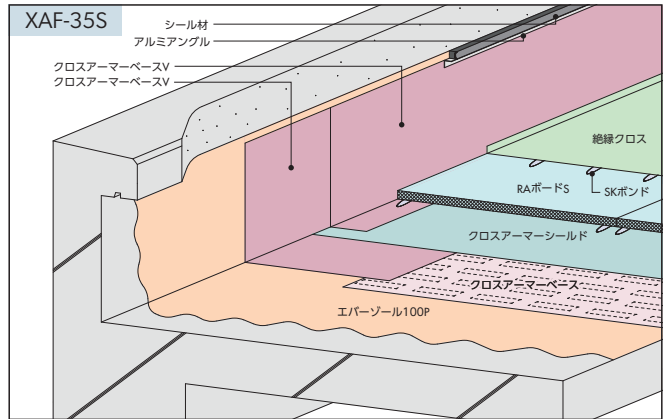
工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベース	—
3	クロスアーマーシールド	—
4	トーチ加熱で端部処理	—
5	RAボードS (SKボンド0.5kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—
6	絶縁クロス(SKボンド0.1kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—

※クロスアーマーベースの短辺接合部は突付けとし、クロスアーマーテープW200を用いて処理します。

※SKボンド0.5kg/m<sup>2</sup>による点張りは、トーチ溶融による点張りに変更することができます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	エバーゾール100P(またはSE)	0.2
2	クロスアーマーベースV	—
3	クロスアーマーベースV	—
4	保護塗料(別途)	—

※立上り部を露出仕上げとする場合、工程3のクロスアーマーベースVをクロスアーマーヘッドVに置き換え、保護塗料仕上げ(別途)を行います。  
※立上り部はトーチ工法仕上げに変更することができます。その場合はラピネス防水TS30Rとします。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- エバーゾールSEは水性アスファルトプライマーです。
- 防水層端部は、シール材で処理してください。
- 端部押え金物は別途です。
- 施工納まり例は、建物の形状により防水シートの施工手順が変わる場合があります。
- 立上りを成形板仕上げにする場合は、彩色カバータイト仕上げにて、増張りとしてください。

## 常温塗膜仕様

架台防水密着仕様

# MC-30



クロスアーマーベース短辺突付け部の増張り処理



クロスアーマーシールド張付け

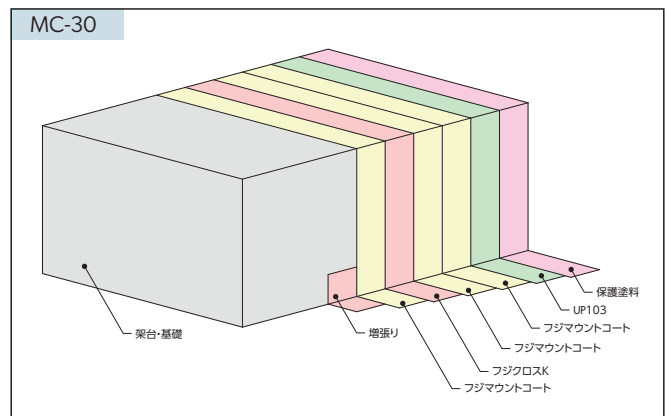


クロスアーマーシールド短辺ラップ処理

工程		使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
1	フジマウントコート	1.0
2	フジクロスK	—
3	フジマウントコート	1.0
4	フジマウントコート	1.0
5	UP103	0.1
6	保護塗料(別途)	—

※増張りシートはフジクロスKとします。

※保護塗料はブリード防止のため、必ずUP103(0.1kg/m<sup>2</sup>)を塗布・乾燥後、翌日以降に施工を行います。



### 保護塗料の種類

- フジカラトップS 1.0kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)
- フジトップクール 0.6kg/m<sup>2</sup>(2回塗り)

### 特徴

- フジマウントコートは、アスファルト系防水材との接着性に優れた1液タイプの塗膜防水材です。
- 架台・基礎などの役物の防水に併用できます。
- 無溶剤型で臭いもなく、塗膜の伸びが大きいので下地追従性に優れています。



# タフネスファイブ防水



## F☆☆☆☆対応

シックハウス症候群で規制されている揮発性有機化合物(VOC)を使用しません。

## 多様な施工が可能

露出・保護・室内など多様な施工が可能です。

## 常温施工で環境に優しい

二酸化炭素の排出がない常温施工であるため低環境負荷性の防水工法です。

## 強靱でシームレスな防水層を形成

長い歴史と実績のあるアスファルト防水とシームレスで複雑な部位での施工信頼性が高い塗膜防水の長所を兼ね備えています。



# 露出防水仕様

常温複合工法密着仕様

## SR-10

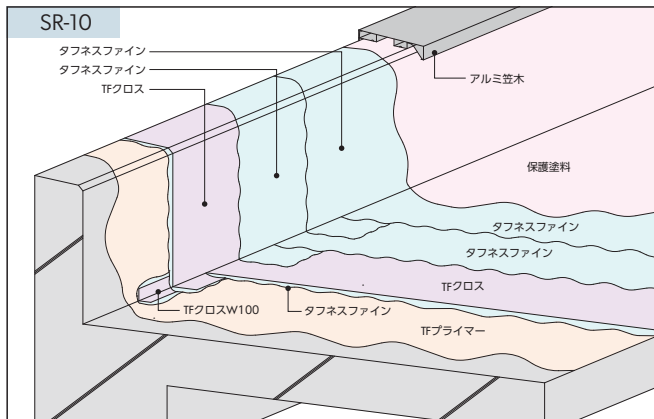


下地勾配 1/50~1/20 平場重量 3.3kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	0.75
5	タフネスファイン	0.75
6	保護塗料(別途)	—

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	0.75
5	タフネスファイン	0.75
6	保護塗料(別途)	—

※増張りはTFクロスW100またはファインテープとします。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 工程1のTFプライマーは、TFプライマー(水性)に変更することができます。
- 役物など複雑な形状の箇所においては、TFクロスの代わりにフジクロスKを使用することができます。
- 下地がアスファルト防水の場合は、TFプライマーをファインボンド(0.4kg/m<sup>2</sup>)とします。
- 下地がウレタン防水の場合はTFプライマーをUP103(0.15kg/m<sup>2</sup>)とします。

### 脱気装置の設置

- 通気仕様で脱気装置を設置する場合は、ステンレス製脱気筒を防水面積や下地の状況を考慮して、50~100mを目安に設置してください(別途)。

常温複合工法通気仕様

## SR-11



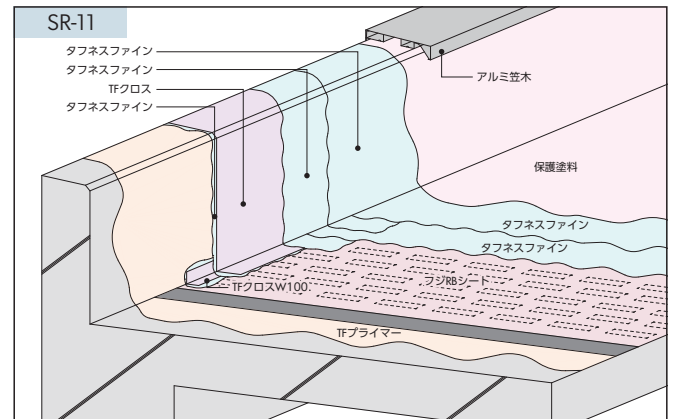
下地勾配 1/50~1/20 平場重量 4.6kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	フジRBシート	—
3	タフネスファイン	1.5
4	タフネスファイン	1.5
5	保護塗料(別途)	—

※フジRBシートの短辺接合部は突付けとし、突付け部、シート端末部および長辺ラップ部はフジRDテープを用いて処理します。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	0.75
5	タフネスファイン	0.75
6	保護塗料(別途)	—

※増張りはTFクロスW100またはファインテープとします。



### 保護仕上げ塗料(別途)

- エマルション系の塗料は、乾燥前に降雨等があると流れ出す場合がありますので注意してください。
- 使用量
 

アルミペイント	0.2kg/m <sup>2</sup>	TFカラー	0.2kg/m <sup>2</sup>
TFコート(骨材入り)	0.8kg/m <sup>2</sup>	TFクール(高反射塗料)	0.3kg/m <sup>2</sup>

# 押え防水仕様

常温複合法密着仕様

## FR-10



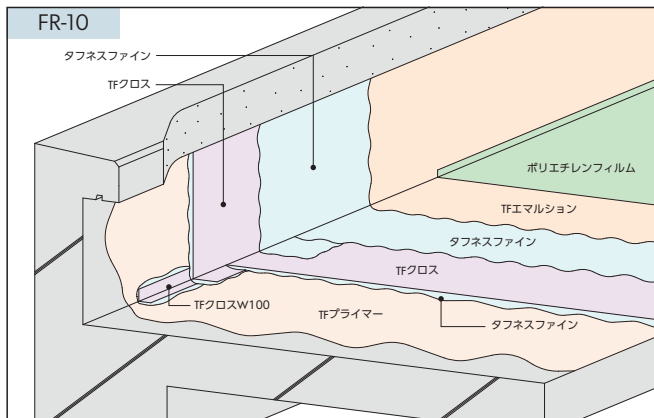
下地勾配 1/100~1/50 平場重量 3.9kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5
5	TFエマルジョン	0.5
6	ポリエチレンフィルム	—

※TFエマルジョンの乾燥を確認後、ポリエチレンフィルムを敷き込みます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5
5	TFエマルジョン	0.5

※増張りはTFクロスW100またはファインテープとします。  
 ※立上りを露出仕上げとする場合、TFエマルジョンを省略し、保護塗料仕上げ(別途)を行います。



常温複合法密着仕様

建設技術審査証明A-1、A-2認定仕様

## FR-10M



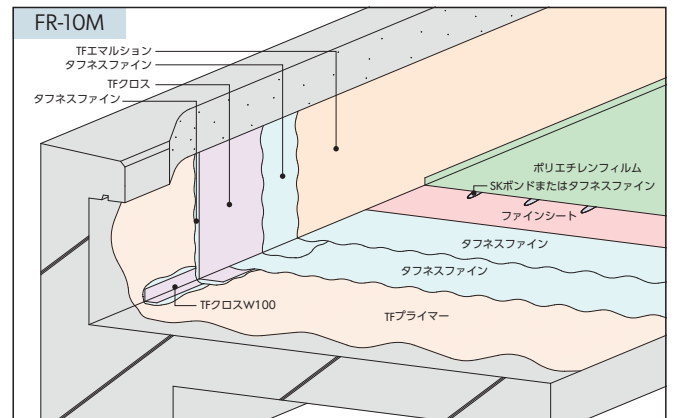
下地勾配 1/100~1/50 平場重量 5.2kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.0
3	タフネスファイン	1.8
4	ファインシート	—
5	ポリエチレンフィルム (SKボンドまたは タフネスファイン0.1kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—

※平場部のファインシートの重ね部からはみ出したタフネスファインが硬化した後、タフネスファインにファインボンドを塗布します。ただし、1週間以内に保護コンクリートを打設する場合は、ファインボンドを省略できます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5
5	TFエマルジョン	0.5

※増張りはTFクロスW100またはファインテープとします。  
 ※立上りを露出仕上げとする場合、TFエマルジョンを省略し、保護塗料仕上げ(別途)を行います。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 工程1のTFプライマーは、TFプライマー(水性)に変更することができます。
- 役物など複雑な形状の箇所においては、TFクロスの代わりにフジクロスKを使用することができます。

# 押え断熱防水仕様

常温複合法密着仕様

## FRI-10



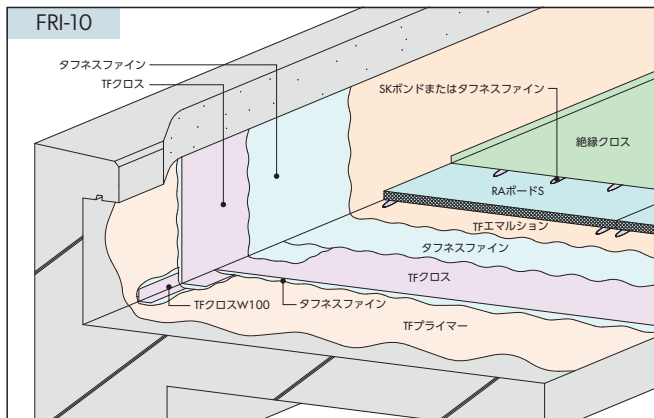
下地勾配 1/100~1/50 平場重量 5.2kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5
5	TFエマルジョン	0.5
6	RAボードS (SKボンドまたは タフネスファイン0.5kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—
7	絶縁クロス (SKボンドまたはタフネスファイン0.1 kg/m <sup>2</sup> で点張り、またはテープ張り)	—

※TFエマルジョンの乾燥を確認後、RAボードSを敷き込みます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5
5	TFエマルジョン	0.5

※増張りはTFクロスW100またはファインテープとします。



常温複合法密着仕様

建設技術審査証明AI-1、AI-2認定仕様

## FRI-10M



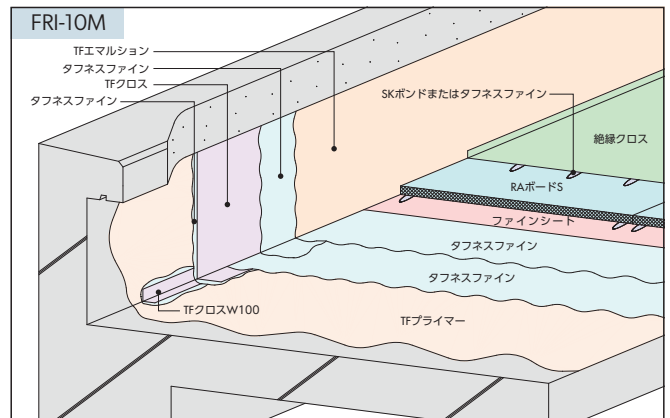
下地勾配 1/100~1/50 平場重量 7.0kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.0
3	タフネスファイン	1.8
4	ファインシート	—
5	RAボードS (SKボンドまたは タフネスファイン0.5kg/m <sup>2</sup> で点張り)	—
6	絶縁クロス (SKボンドまたはタフネスファイン0.1 kg/m <sup>2</sup> で点張り、またはテープ張り)	—

※平場部のファインシートの重ね部からはみ出したタフネスファインが硬化した後、タフネスファインにファインボンドを塗布します。ただし、1週間以内に保護コンクリートを打設する場合は、ファインボンドを省略できます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5
5	TFエマルジョン	0.5

※増張りはTFクロスW100またはファインテープとします。  
※立上りを露出仕上げとする場合、TFエマルジョンを省略し、保護塗料仕上げ(別途)を行います。



### 注意事項

- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 工程1のTFプライマーは、TFプライマー(水性)に変更することができます。
- 役物など複雑な形状の箇所においては、TFクロスの代わりにフジクロスKを使用することができます。

# 室内防水仕様

常温複合法密着仕様

## IR-10

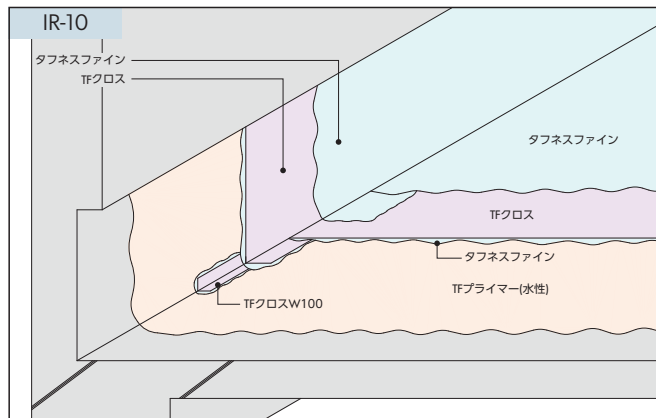


下地勾配 1/100~1/50 平場重量 3.3kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー(水性)	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー(水性)	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5

※増張りはTFクロスW100またはファインテープとします。



常温複合法密着仕様

建設技術審査証明E-1、E-2認定仕様

## IR-10M



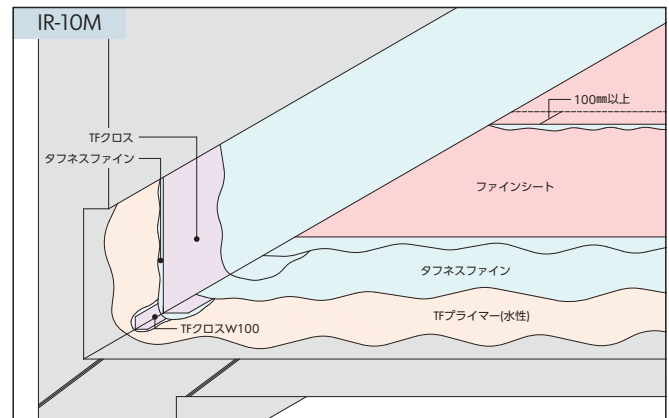
下地勾配 1/100~1/50 平場重量 5.1kg/m<sup>2</sup>

工程	平場	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー(水性)	0.2
2	タフネスファイン	1.0
3	タフネスファイン	1.8
4	ファインシート	—

※平場部のファインシートの重ね部からはみ出したタフネスファインが硬化した後、タフネスファインにファインボンドを塗布します。ただし、1週間以内に保護コンクリートを打設する場合は、ファインボンドを省略できます。

工程	立上り	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	TFプライマー(水性)	0.2
2	タフネスファイン	1.5
3	TFクロス	—
4	タフネスファイン	1.5

※増張りはTFクロスW100またはファインテープとします。

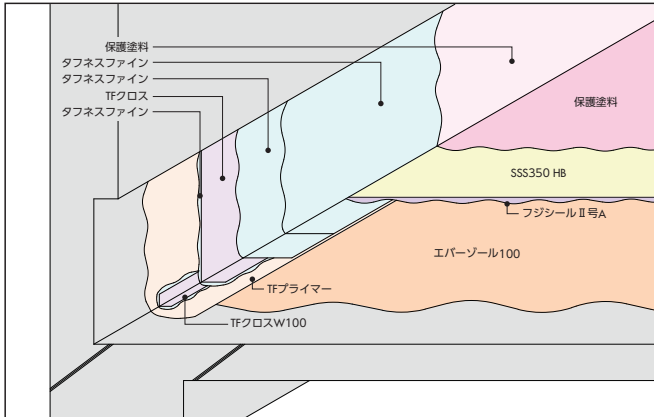


### 注意事項

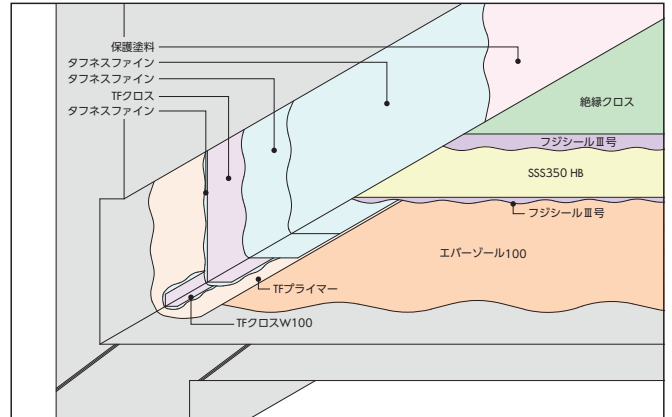
- 工程1のTFプライマー(水性)は、TFプライマーに変更することができます。その際は有機溶剤中毒予防規則(有機則)等に基づいて施工してください。
- ドレンは、JIS A 5522に適合のアスファルト防水用を使用し、正しく取り付けてください。(P64参照)
- 役物など複雑な形状の箇所においては、TFクロスの代わりにフジクロスKを使用することができます。
- 立上りにクランプピン(トンボ)を設置する場合は、タフネスファインまたはシート材にて取り付けます。

# 立上り塗膜併用納まり図

## 立上りを先に施工する場合

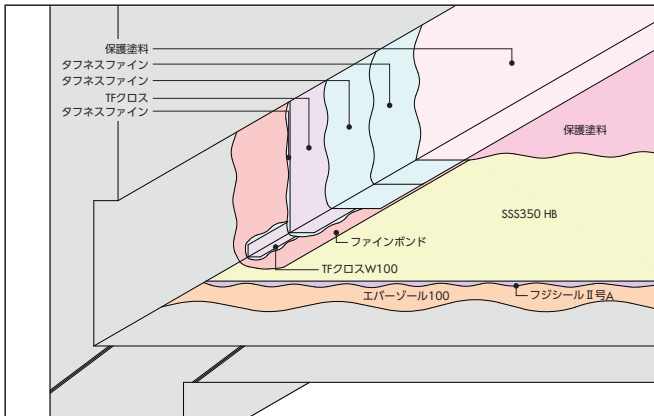


**タフネス露出防水**  
平場：S200B  
立上り：SR-10

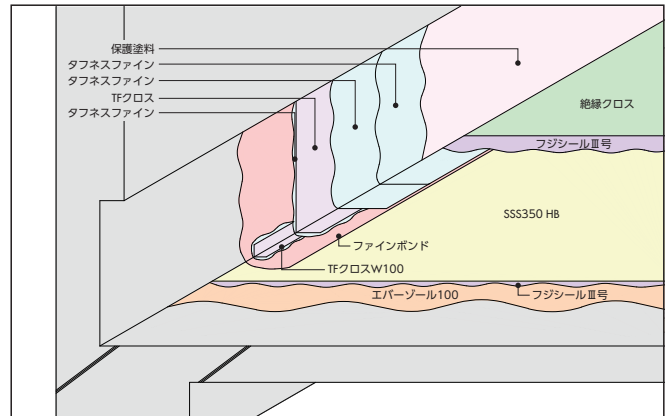


**タフネス押え防水**  
平場：F200BⅢ  
立上り：SR-10

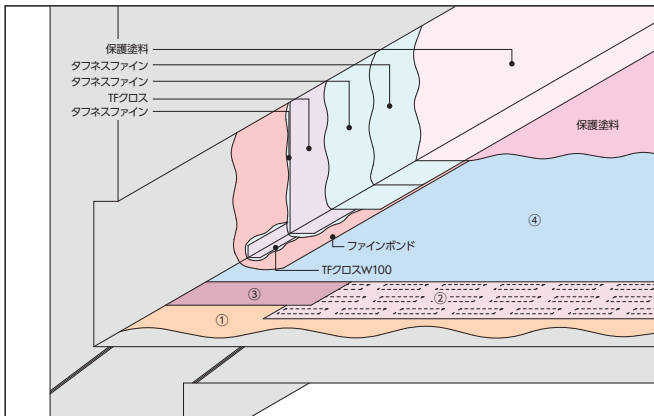
## 平場を先に施工する場合



**タフネス露出防水**  
平場：S200B  
立上り：SR-10



**タフネス押え防水**  
平場：F200BⅢ  
立上り：SR-10



	ラピネス防水	ハインネス防水	クロスアーマー防水
	TSM25R	H-MS21	XAS-25
①	エバーゾール100P	エバーゾールS	エバーゾール100P
②	ハインネスシートSW-T	ハインネスシートSFⅡ	クロスアーマーベース
③	ラピネスシートPW250	ハインネスシートSF	クロスアーマーベースV
④	ラピネスシートGR400	ハインネスシートS	クロスアーマーヘッド

タフネス防水AP工法以外の防水仕様例

平場はタフネス防水、ラピネス防水、ハインネス防水、クロスアーマー防水の各仕様での施工が可能です。  
露出仕様の場合、保護塗料は各防水工法の保護塗料を規定量塗布してください。